

鳥取県青少年育成意識調査（単純集計：ヤングケアラーの状況）

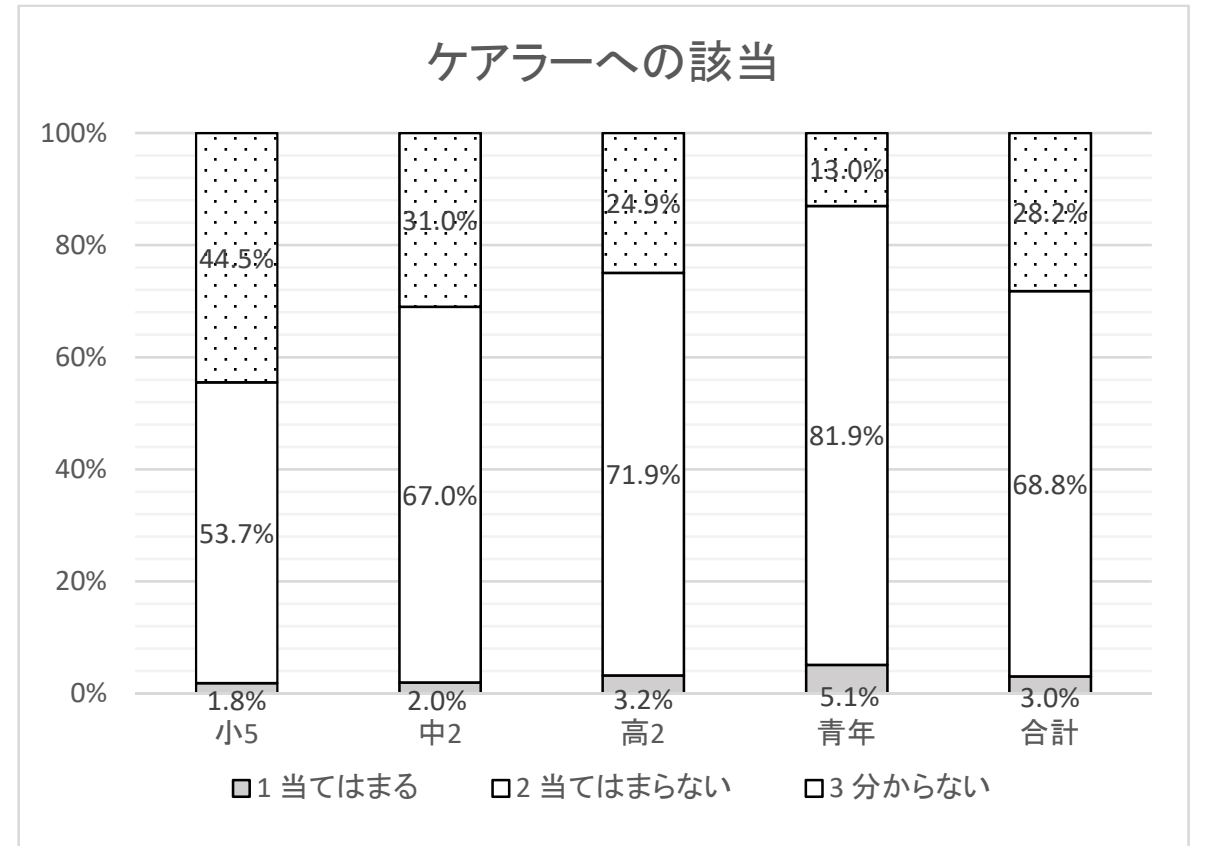
※表中の上段数値は回答者数（人）、下段数値は全回答者数に対する割合（端数調整有）

1 （ヤング）ケアラーへの該当（家事や家族の世話などの経験） 【調査対象：小5、中2、高2、青年】

問 あなたは自分が「（ヤング）ケアラー」に当てはまる、または過去に当てはまっていたと思いますか。（単一回答）

⇒ 当てはまると回答した者は、小学5年生が1.8%(7人/382人)、中学2年生が2.0%(8人/410人)、高校2年生が3.2%(13人/409人)、青年が5.1%(20人/393人)であった。
また、小学5年生では44.5%(170人/382人)、中学2年生では31.0%(127人/410人)が「分からない」と回答している。

選択肢	小5	中2	高2	青年	合計
1 当てはまる	7 1.8%	8 2.0%	13 3.2%	20 5.1%	48 3.0%
2 当てはまらない	205 53.7%	275 67.0%	294 71.9%	322 81.9%	1,096 68.8%
3 分からない	170 44.5%	127 31.0%	102 24.9%	51 13.0%	450 28.2%
回答者数	382	410	409	393	1,594



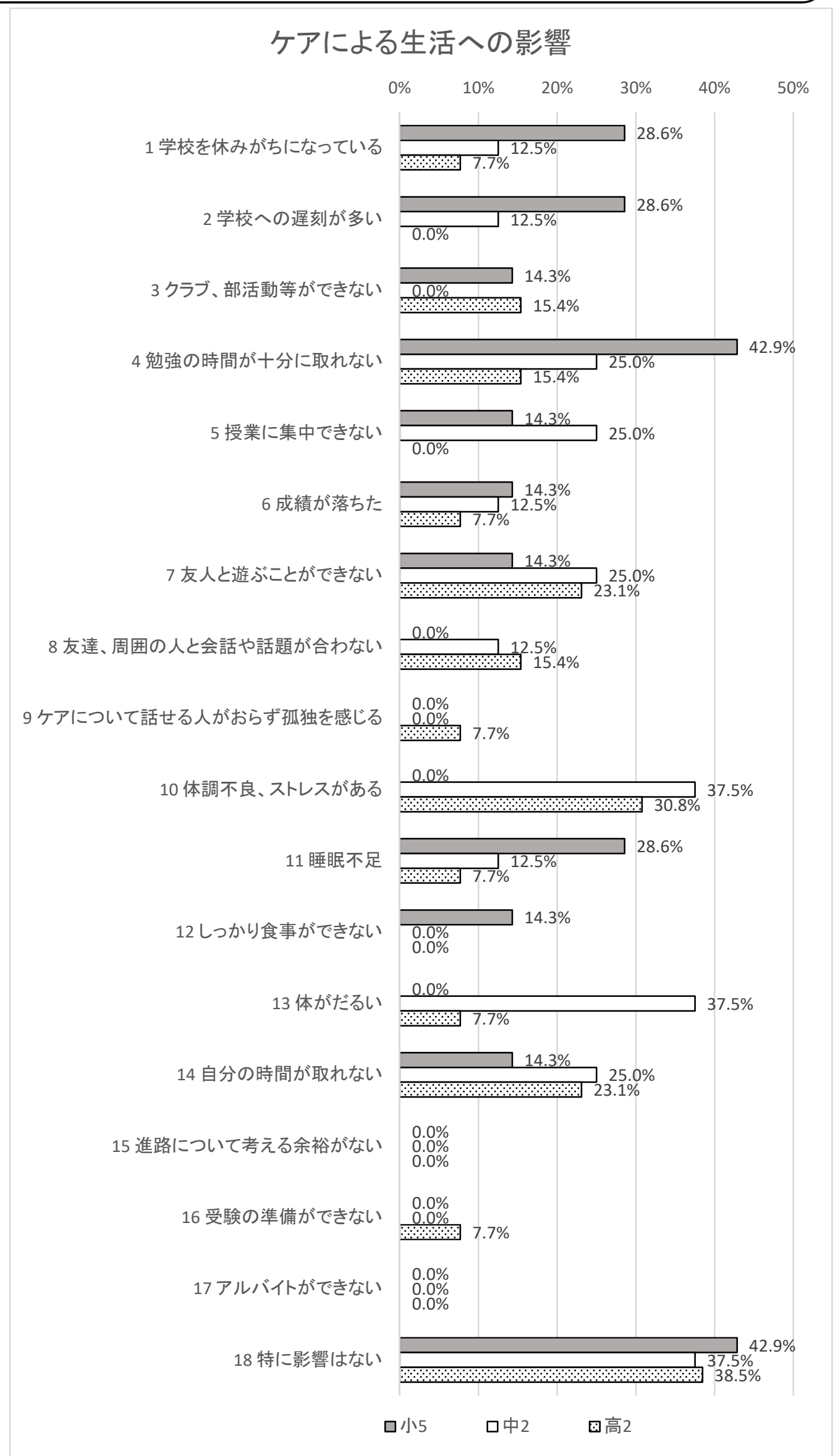
2 ケアによる生活への影響 【調査対象：小5、中2、高2】

問 家族のケアをしているために、自分の生活にどんな影響が出ています（出ていました）か。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 小学5年生で「勉強の時間が十分に取れない」「特に影響はない」が42.9%、
中学2年生で「体調不良・ストレスがある」「体がだるい」「特に影響はない」が37.5%、

選択肢	小5	中2	高2	合計
1 学校を休みがちになっている	2 28.6%	1 12.5%	1 7.7%	4 14.3%
2 学校への遅刻が多い	2 28.6%	1 12.5%	0.0%	3 10.7%
3 クラブ、部活動等ができない	1 14.3%	0.0%	2 15.4%	3 10.7%
4 勉強の時間が十分に取れない	3 42.9%	2 25.0%	2 15.4%	7 25.0%
5 授業に集中できない	1 14.3%	2 25.0%	0.0%	3 10.7%
6 成績が落ちた	1 14.3%	1 12.5%	1 7.7%	3 10.7%
7 友人と遊ぶことができない	1 14.3%	2 25.0%	3 23.1%	6 21.4%
8 友達、周囲の人と会話や話題が合わない	0.0%	1 12.5%	2 15.4%	3 10.7%
9 ケアについて話せる人がおらず孤独を感じる	0.0%	0.0%	1 7.7%	1 3.6%
10 体調不良、ストレスがある	0.0%	3 37.5%	4 30.8%	7 25.0%
11 睡眠不足	2 28.6%	1 12.5%	1 7.7%	4 14.3%
12 しっかり食事ができない	1 14.3%	0.0%	0.0%	1 3.6%
13 体がだるい	0.0%	3 37.5%	1 7.7%	4 14.3%
14 自分の時間が取れない	1 14.3%	2 25.0%	3 23.1%	6 21.4%
15 進路について考える余裕がない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16 受験の準備ができない	0.0%	0.0%	1 7.7%	1 3.6%
17 アルバイトができない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18 特に影響はない	3 42.9%	3 37.5%	5 38.5%	11 39.3%
回答者数	7	8	13	28
延べ回答数	18	22	27	67

※該当の選択肢を設けていない箇所は「-」



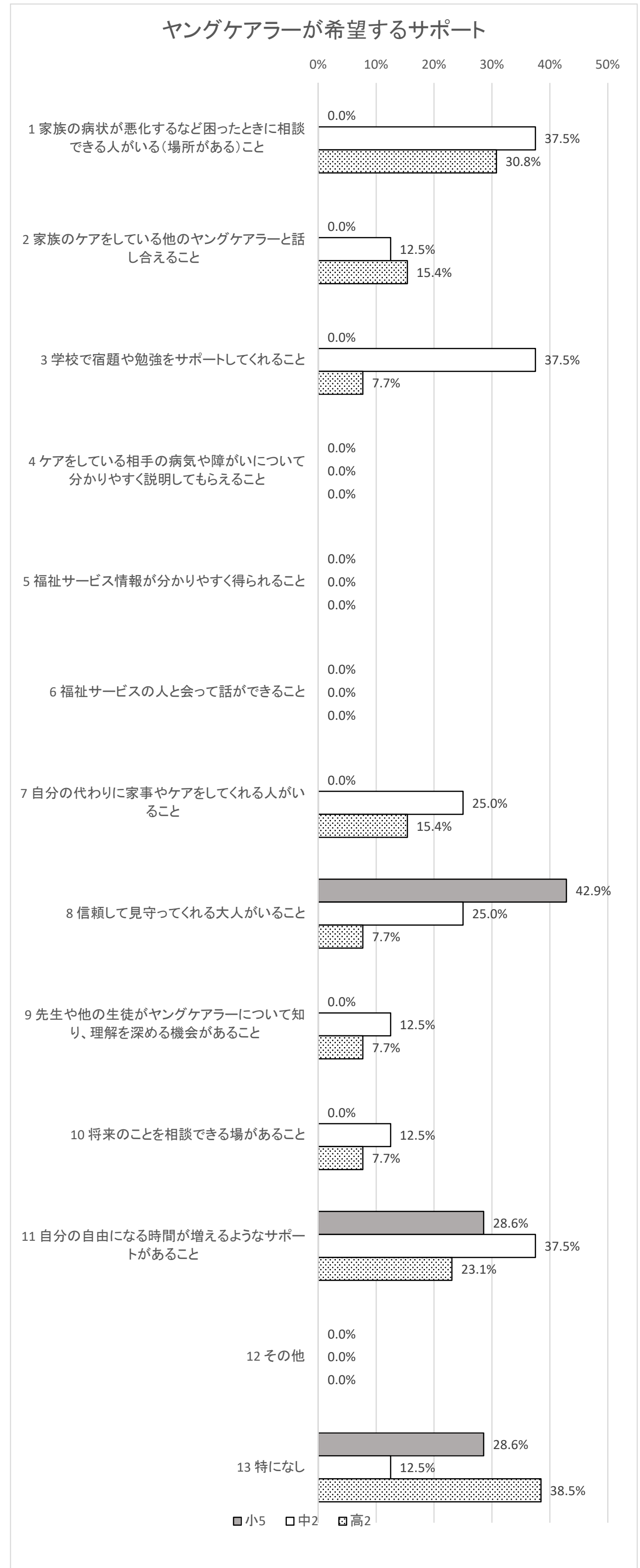
3 ヤングケアラーが希望するサポート【調査対象：小5、中2、高2】

問 こんなサポートがあったらいいと思う項目はありますか。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 小学5年生で「信頼して見守ってくれる大人がいること」が42.9%、
 中学2年生で「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人がある（場所がある）こと」「学校で宿題や勉強をサポートしてくれること」
 「自分の自由になる時間が増えるようなサポートがあること」が37.5%、
 高校2年生で「特になし」が38.5%、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人がある（場所がある）こと」が30.8%と高くなっている。

選択肢	小5	中2	高2	合計
1 家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人がある（場所がある）こと	0.0%	37.5%	30.8%	25.0%
2 家族のケアをしている他のヤングケアラーと話し合えること	0.0%	12.5%	15.4%	10.7%
3 学校で宿題や勉強をサポートしてくれること	0.0%	37.5%	7.7%	14.3%
4 ケアをしている相手の病気や障がいについて分かりやすく説明してもらえること	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5 福祉サービス情報が分かりやすく得られること	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6 福祉サービスの人と会って話ができること	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7 自分の代わりに家事やケアをしてくれる人があること	0.0%	25.0%	15.4%	14.3%
8 信頼して見守ってくれる大人がいること	42.9%	25.0%	7.7%	21.4%
9 先生や他の生徒がヤングケアラーについて知り、理解を深める機会があること	0.0%	12.5%	7.7%	7.1%
10 将来のことを相談できる場があること	0.0%	12.5%	7.7%	7.1%
11 自分の自由になる時間が増えるようなサポートがあること	28.6%	37.5%	23.1%	28.6%
12 その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13 特になし	28.6%	12.5%	38.5%	28.6%
回答者数	7	8	13	28
延べ回答数	7	17	20	44

※該当の選択肢を設けていない箇所は「-」

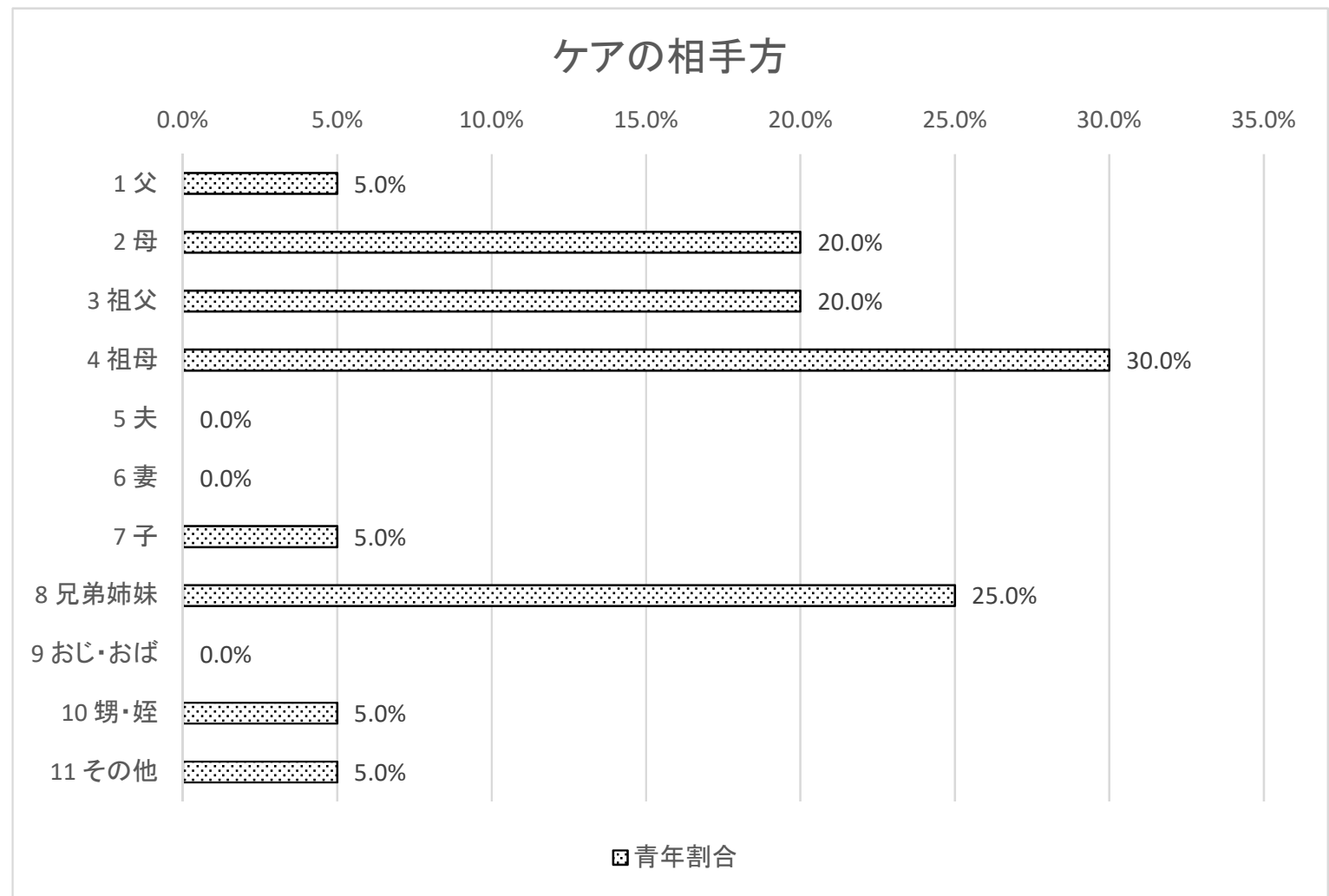


4 ケアの相手【調査対象：青年】

問 ケアの相手は誰ですか。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「祖母」が30.0%、「兄弟姉妹」が25.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 父	1	5.0%
2 母	4	20.0%
3 祖父	4	20.0%
4 祖母	6	30.0%
5 夫		0.0%
6 妻		0.0%
7 子	1	5.0%
8 兄弟姉妹	5	25.0%
9 おじ・おば		0.0%
10 甥・姪	1	5.0%
11 その他	1	5.0%
回答者数	20	
延べ回答数	23	

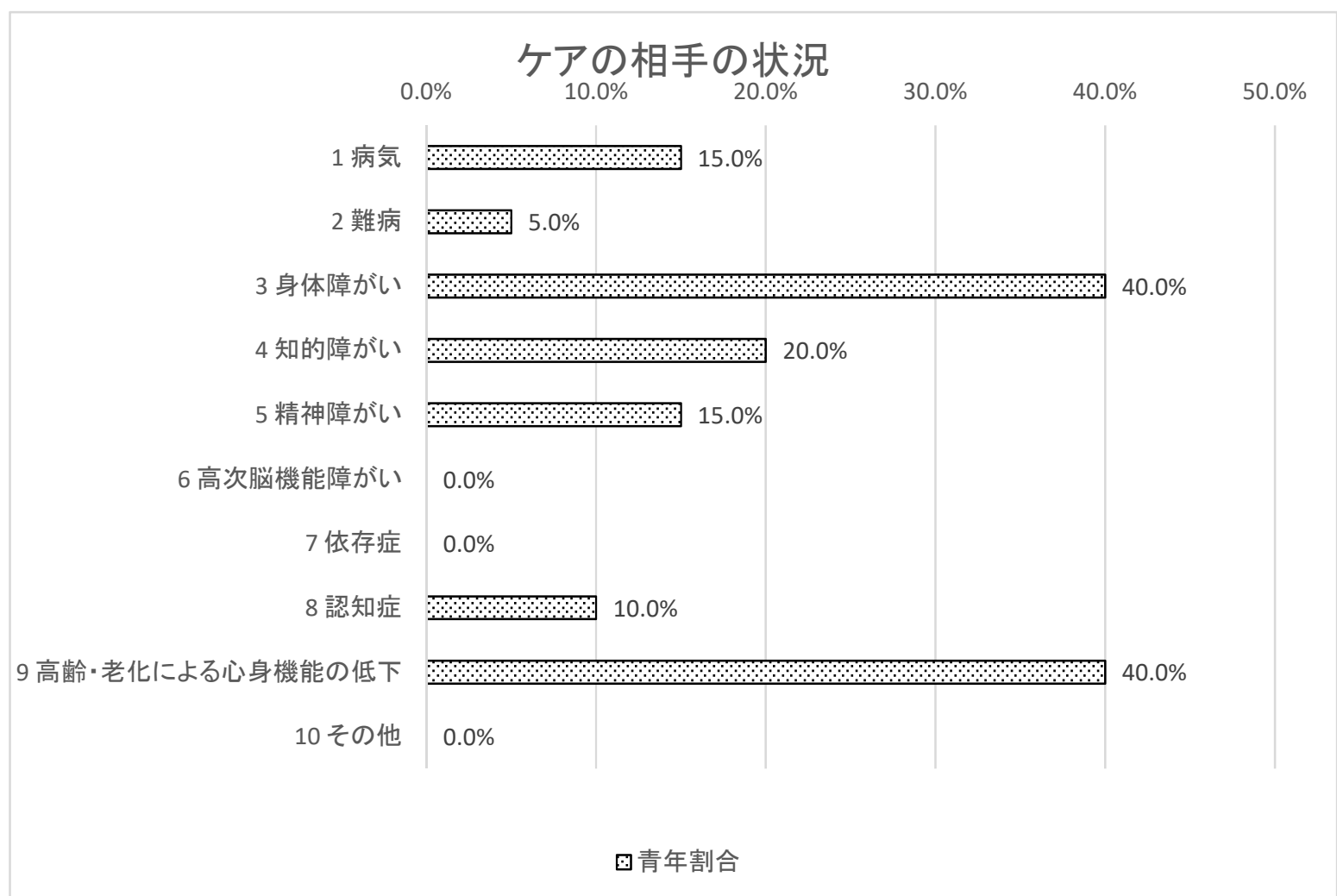


5 ケアの相手の状況【調査対象：青年】

問 ケアをしている相手の状況について、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「身体障がい」「高齢・老化による心身機能の低下」が40.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 病気	3	15.0%
2 難病	1	5.0%
3 身体障がい	8	40.0%
4 知的障がい	4	20.0%
5 精神障がい	3	15.0%
6 高次脳機能障がい		0.0%
7 依存症		0.0%
8 認知症	2	10.0%
9 高齢・老化による心身機能の低下	8	40.0%
10 その他		0.0%
回答者数	20	
延べ回答数	29	

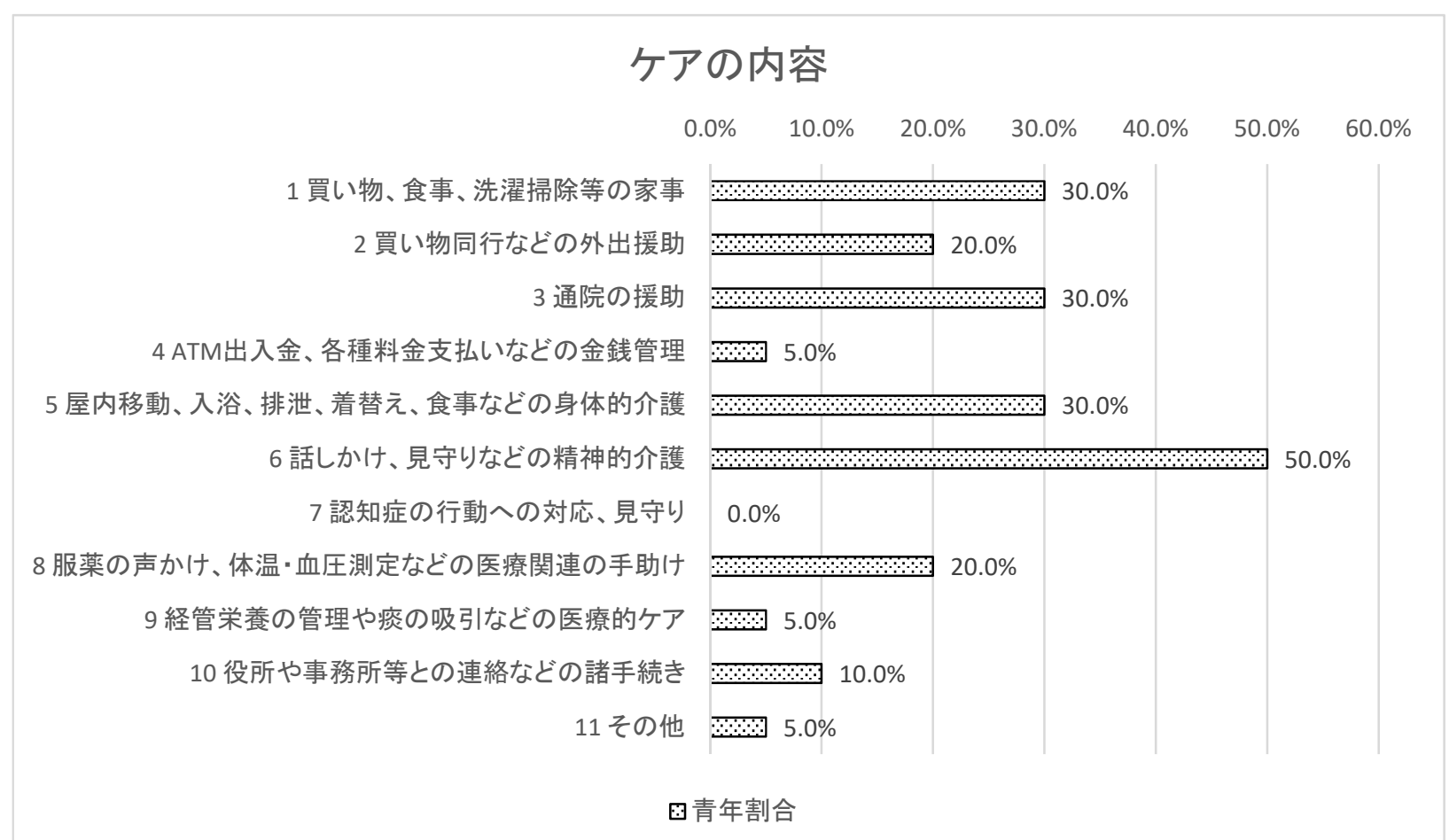


6 ケアの内容【調査対象：青年】

問 あなたが行っているケアの内容について、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「話しかけ、見守りなどの精神的介護」が50.0%、「買い物、食事、洗濯掃除等の家事」「通院の援助」「屋内移動、入浴、排泄、着替え、食事などの身体的介護」が30.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 買い物、食事、洗濯掃除等の家事	6	30.0%
2 買い物同行などの外出援助	4	20.0%
3 通院の援助	6	30.0%
4 ATM出入金、各種料金支払いなどの金銭管理	1	5.0%
5 屋内移動、入浴、排泄、着替え、食事などの身体的介護	6	30.0%
6 話しかけ、見守りなどの精神的介護	10	50.0%
7 認知症の行動への対応、見守り		0.0%
8 服薬の声かけ、体温・血圧測定などの医療関連の手助け	4	20.0%
9 経管栄養の管理や痰の吸引などの医療的ケア	1	5.0%
10 役所や事務所等との連絡などの諸手続き	2	10.0%
11 その他	1	5.0%
回答者数	20	
延べ回答数	61	

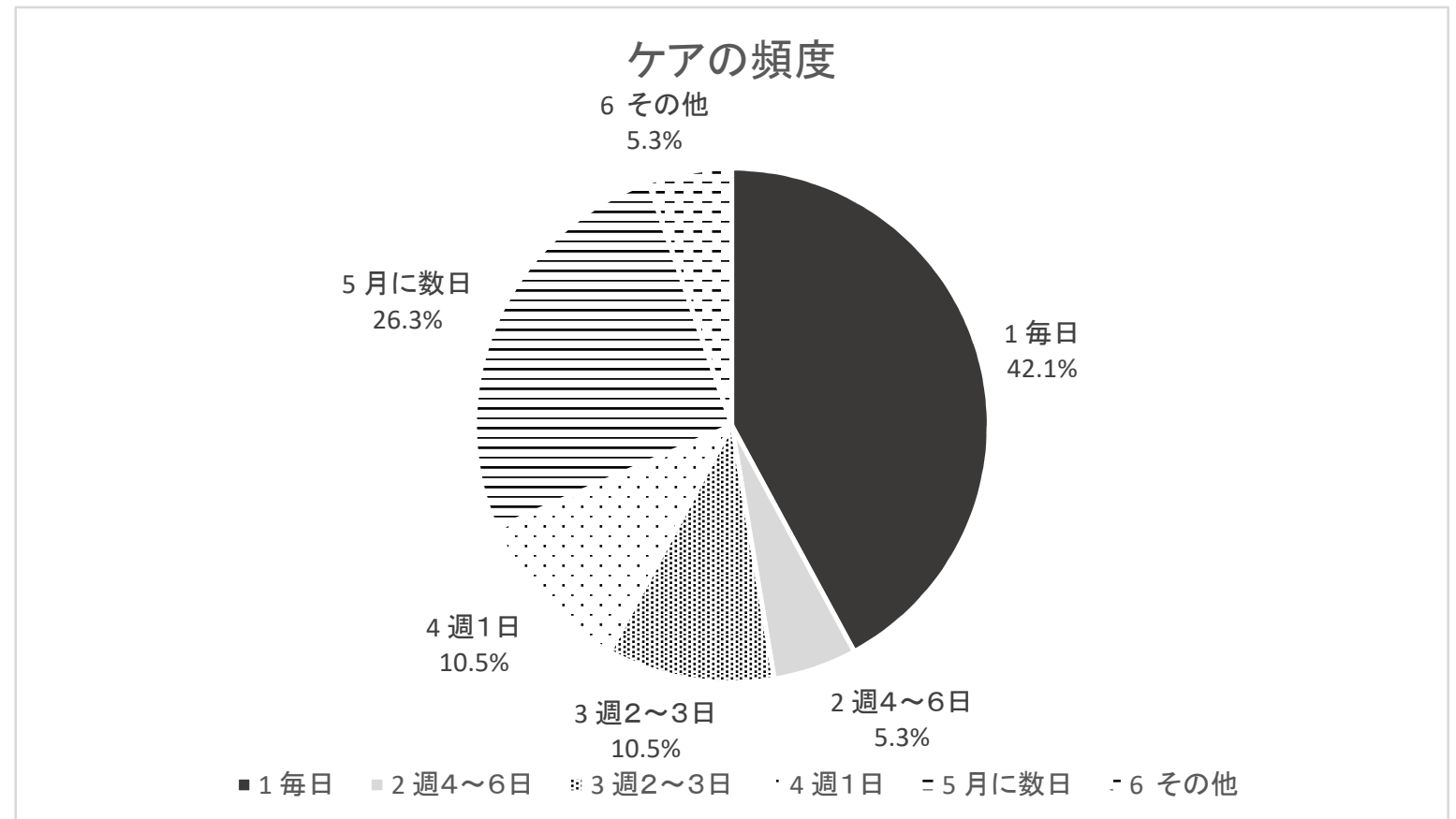


7 ケアの頻度【調査対象：青年】

問 あなたが行っているケアの頻度について、当てはまる番号を1つ選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：単一回答）

⇒ 青年において、「毎日」が42.1%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 毎日	8	42.1%
2 週4～6日	1	5.3%
3 週2～3日	2	10.5%
4 週1日	2	10.5%
5 月に数日	5	26.3%
6 その他	1	5.3%
回答者数	19	

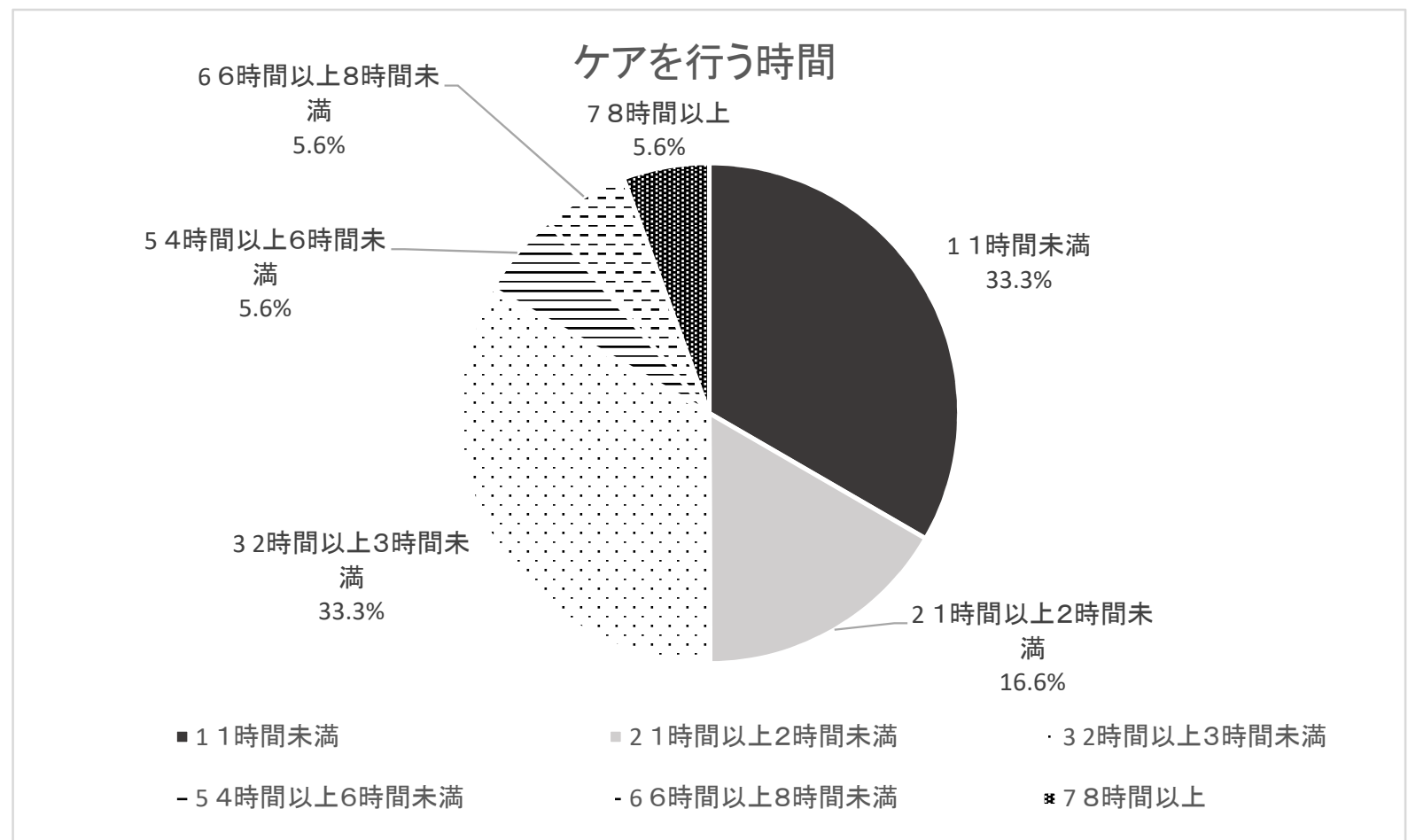


8 ケアを行う時間【調査対象：青年】

問 あなたが1日に行っているケアの時間について、当てはまる番号を1つ選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：単一回答）

⇒ 青年において、「1時間未満」「2時間以上3時間未満」が33.3%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 1時間未満	6	33.3%
2 1時間以上2時間未満	3	16.6%
3 2時間以上3時間未満	6	33.3%
4 3時間以上4時間未満		0.0%
5 4時間以上6時間未満	1	5.6%
6 6時間以上8時間未満	1	5.6%
7 8時間以上	1	5.6%
回答者数	18	

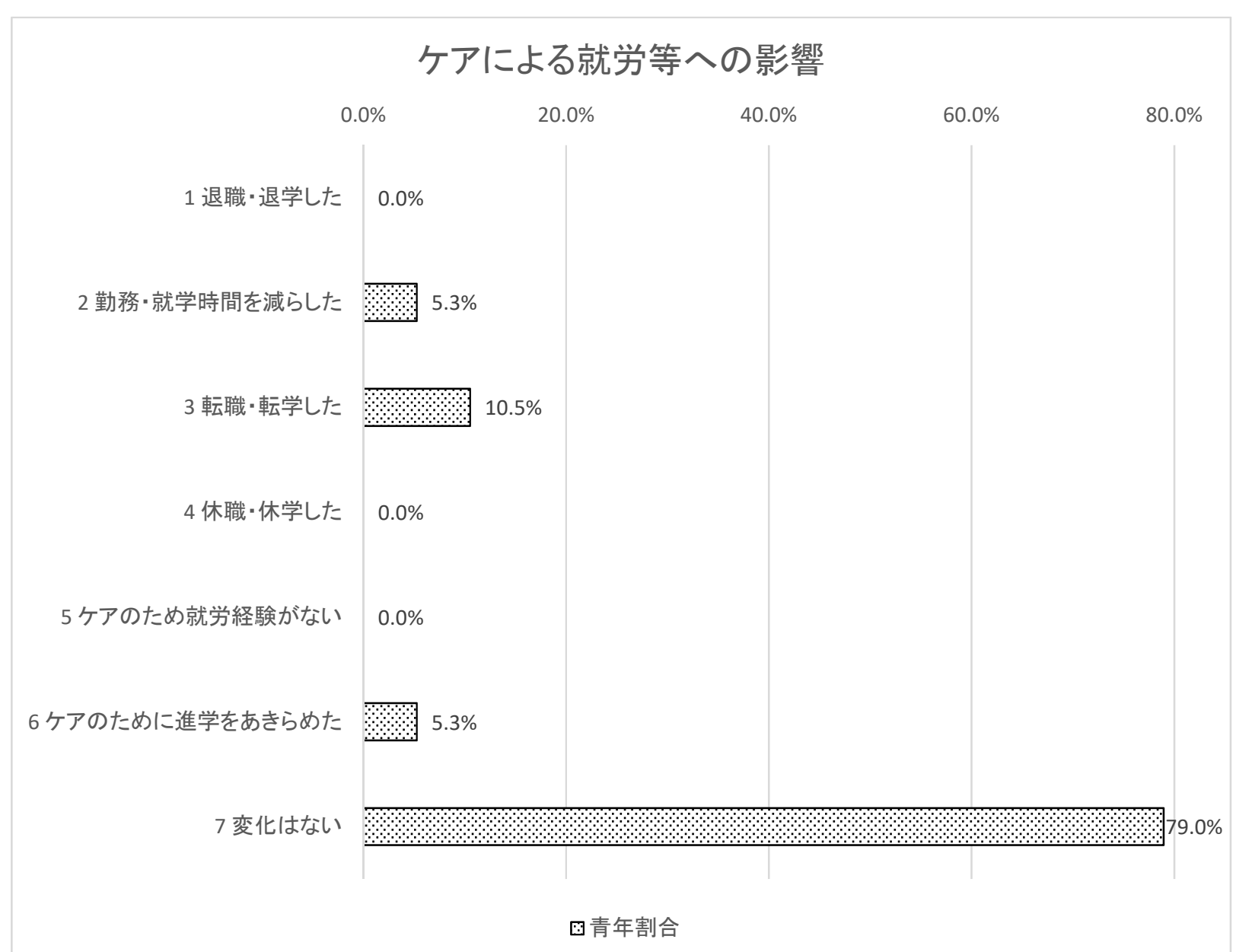


9 ケアによる就労等への影響【調査対象：青年】

問 ケアにより就労（学生の方は就学）状況は変化しましたか。当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「変化はない」が79.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 退職・退学した		0.0%
2 勤務・就学時間を減らした	1	5.3%
3 転職・転学した	2	10.5%
4 休職・休学した		0.0%
5 ケアのため就労経験がない		0.0%
6 ケアのために進学をあきらめた	1	5.3%
7 変化はない	15	79.0%
回答者数	19	
延べ回答数	19	

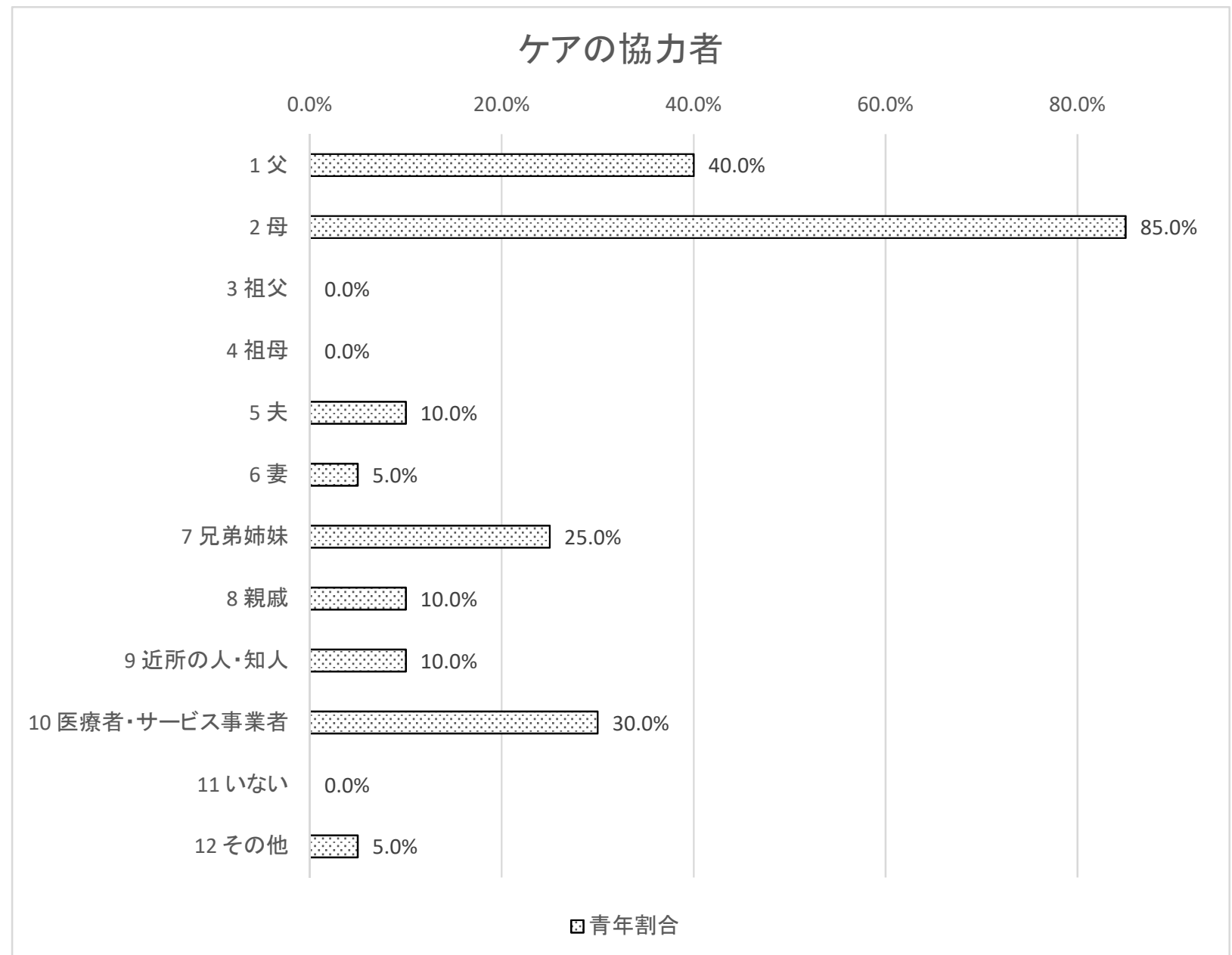


10 ケアの協力者【調査対象：青年】

問 あなた以外で、ケアに協力してくれる人について、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「母」が85.0%と高く、「父」が40.0%、「医療者・サービス業者」が30.0%と続いている。

選択肢		青年割合
1 父	8	40.0%
2 母	17	85.0%
3 祖父		0.0%
4 祖母		0.0%
5 夫	2	10.0%
6 妻	1	5.0%
7 兄弟姉妹	5	25.0%
8 親戚	2	10.0%
9 近所の人・知人	2	10.0%
10 医療者・サービス事業者	6	30.0%
11 いない		0.0%
12 その他	1	5.0%
回答者数	20	
延べ回答数	44	

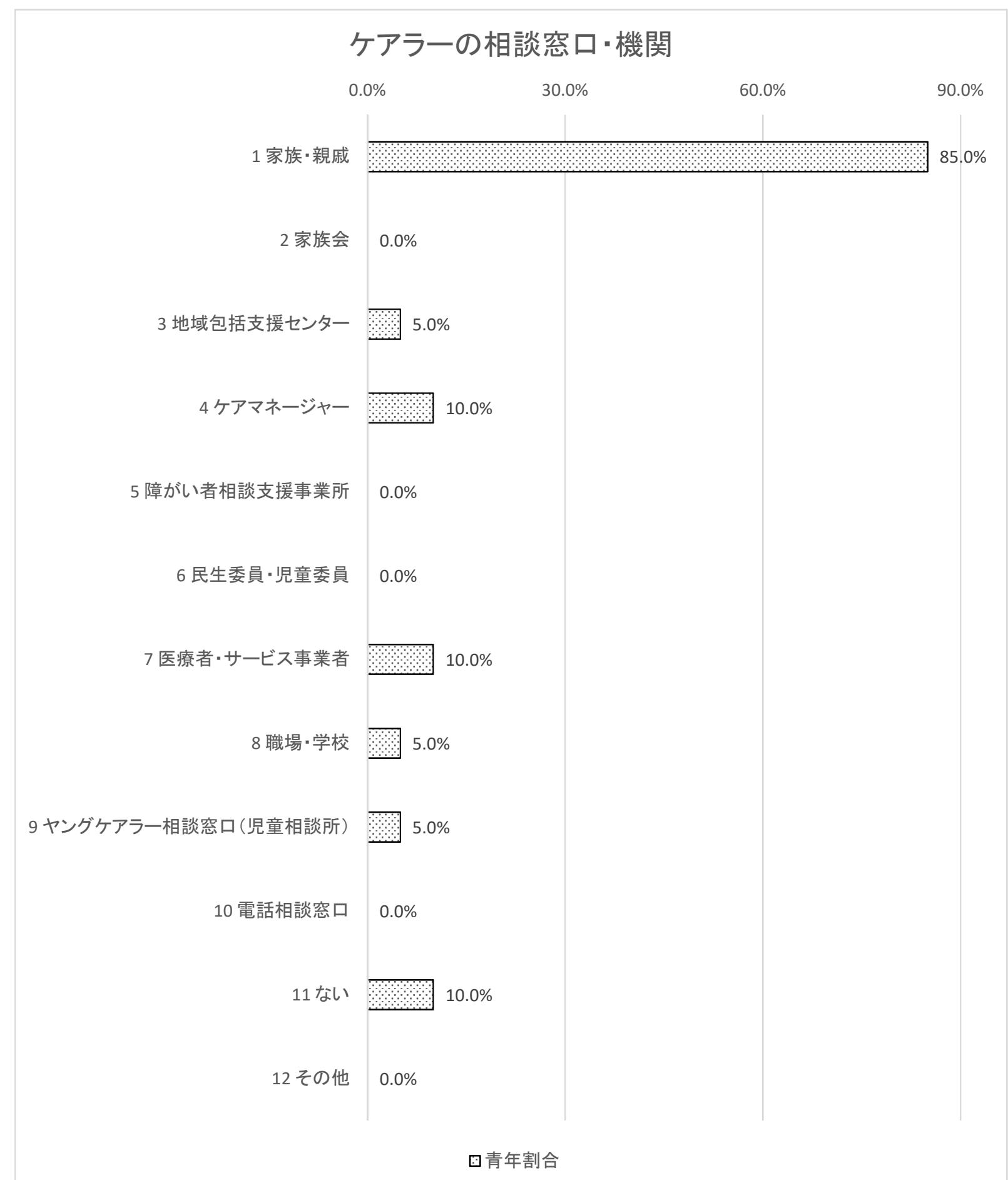


11 ケアラーの相談窓口・機関【調査対象：青年】

問 あなたが信頼して相談できる人や窓口・機関について、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「家族・親戚」が85.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 家族・親戚	17	85.0%
2 家族会		0.0%
3 地域包括支援センター	1	5.0%
4 ケアマネージャー	2	10.0%
5 障がい者相談支援事業所		0.0%
6 民生委員・児童委員		0.0%
7 医療者・サービス事業者	2	10.0%
8 職場・学校	1	5.0%
9 ヤングケアラー相談窓口（児童相談所）	1	5.0%
10 電話相談窓口		0.0%
11 ない	2	10.0%
12 その他		0.0%
回答者数	20	
延べ回答数	26	

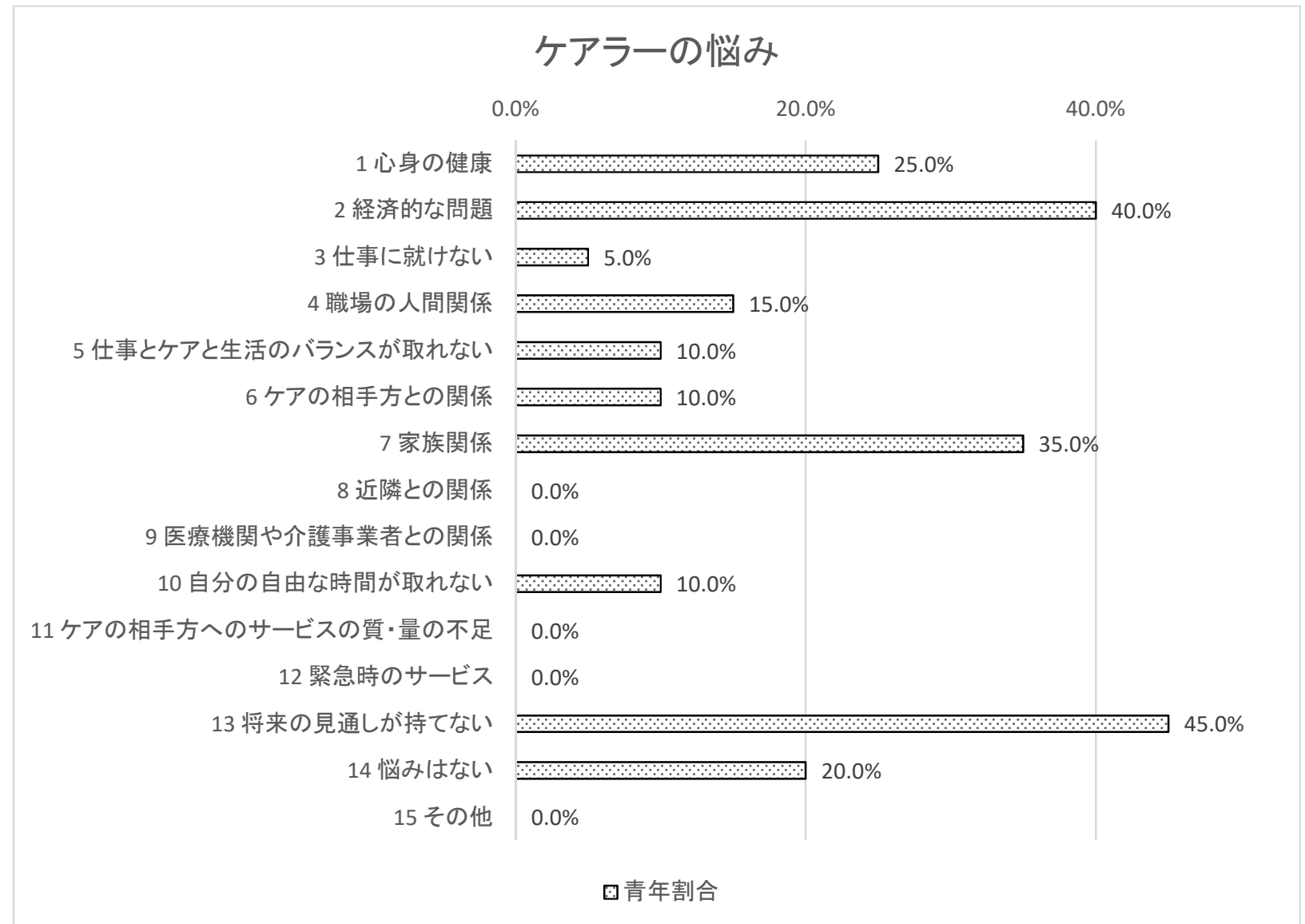


12 ケアラーの悩み【調査対象：青年】

問 自身の生活や人生に関する悩みについて、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「将来の見通しが持てない」が45.0%、「経済的な問題」が40.0%、「家族関係」が35.0%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 心身の健康	5	25.0%
2 経済的な問題	8	40.0%
3 仕事に就けない	1	5.0%
4 職場の人間関係	3	15.0%
5 仕事とケアと生活のバランスが取れない	2	10.0%
6 ケアの相手方との関係	2	10.0%
7 家族関係	7	35.0%
8 近隣との関係		0.0%
9 医療機関や介護事業者との関係		0.0%
10 自分の自由な時間が取れない	2	10.0%
11 ケアの相手方へのサービスの質・量の不足		0.0%
12 緊急時のサービス		0.0%
13 将来の見通しが持てない	9	45.0%
14 悩みはない	4	20.0%
15 その他		0.0%
回答者数	20	
延べ回答数	43	

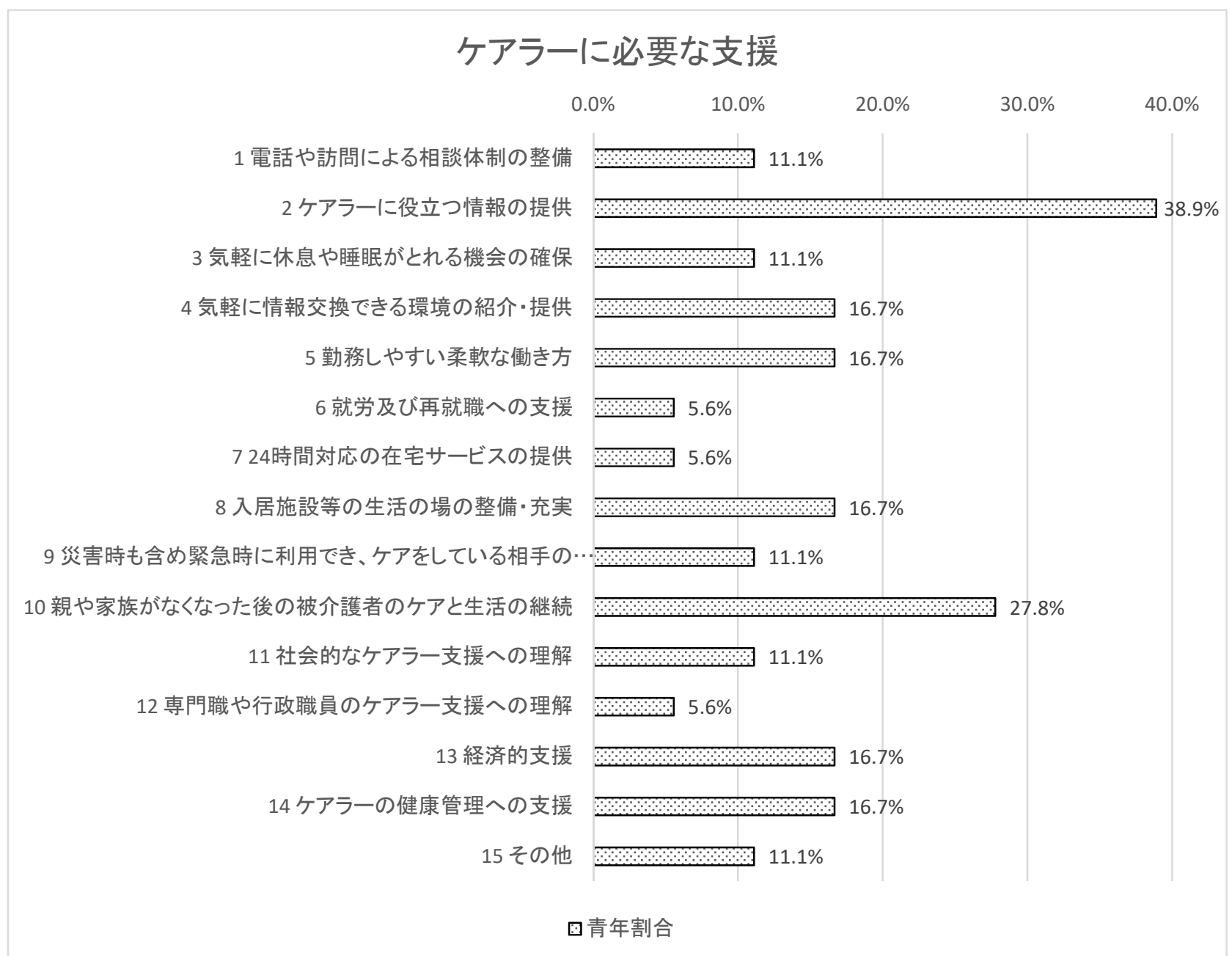


13 ケアラーに必要な支援【調査対象：青年】

問 ケアラーである自分に必要と思われる支援について、当てはまる番号をすべて選んでください。（ケアラー該当者のみ回答：複数回答）

⇒ 青年において、「ケアラーに役立つ情報の提供」が38.9%、「親や家族がなくなった後の被介護者のケアと生活の継続」が27.8%と高くなっている。

選択肢		青年割合
1 電話や訪問による相談体制の整備	2	11.1%
2 ケアラーに役立つ情報の提供	7	38.9%
3 気軽に休息や睡眠がとれる機会の確保	2	11.1%
4 気軽に情報交換できる環境の紹介・提供	3	16.7%
5 勤務しやすい柔軟な働き方	3	16.7%
6 就労及び再就職への支援	1	5.6%
7 24時間対応の在宅サービスの提供	1	5.6%
8 入居施設等の生活の場の整備・充実	3	16.7%
9 災害時も含め緊急時に利用でき、ケアをしている相手の生活を支えるサービス	2	11.1%
10 親や家族がなくなった後の被介護者のケアと生活の継続	5	27.8%
11 社会的なケアラー支援への理解	2	11.1%
12 専門職や行政職員のケアラー支援への理解	1	5.6%
13 経済的支援	3	16.7%
14 ケアラーの健康管理への支援	3	16.7%
15 その他	2	11.1%
回答者数	18	
延べ回答数	40	



14 (ヤング) ケアラーに関する意見【調査対象：小5、中2、高2、青年】

問 (ヤング) ケアラーに関して、ご意見などがあればご自由にご記入ください。（ケアラー該当者のみ回答）

内容	回答者
(回答者なし)	小学5年
大変	中学2年
職場の理解	高校2年
僕は介護の仕事についています。母も同じ仕事で、祖父を看取ったことがきっかけです。特になし・過去の話の為。	青年
祖母（私の母の母）の介護をしています。要介護5なので身の回りの世話は全てしないといけません。母は何もしません。私が子どもの頃もネグレクトだったので何も期待はしていませんが、やはり「なぜ私が？」という思いで毎日過ごしています。結婚して子供を作って逃げましたが、祖母のデイサービスや病院などからの連絡がすべて私に来るようにされてしまい、結局子どもを抱えての介護になり、最悪です。特におばあちゃんが好きだったわけでもないので、「いつ死んでくれるかな」と思いながら接しているので祖母も辛いと思います。老人ホームに入れることが出来れば一番いいのですが、金銭的に無理です。愚痴でした。すみません。	
障がい者入居施設など数も少なく、あっても値段が高いため、県や市などから経済支援があるとありがたい。親が見れなくなった後、ケアラーになるには兄弟になるので負担を少しでも減らしてほしい。	
医療費や通院費を無償化してほしい	
精神障がいの母と、知的障がいの兄のケアを継続する意思がありません。私自身の生活と精神安定にやむなしと考えています。	